

地域づくりネットワーク埼玉県協議会会員情報

団体名	みやのかわ商店街振興組合 みやのかわナイトバザール実行委員会（秩父市）	
DATE	代表者	小泉 貴之
	事務局及び情報誌等送付先	みやのかわ商店街振興組合事務局（ほっとすぽっと秩父館） 〒368-0046 秩父市宮側町18-2 TEL 0494-24-8856
	HomePage	http://www.chichibu-cci.or.jp/news/3_30/night.htm
	E-mail	w2yasuda@chichibu.ne.jp
	構成員	120店舗
	活動日	偶数月の第三土曜日
	活動場所	みやのかわ商店街内
設立のきっかけ	昭和61年、埼玉県商工部の指導のもと、青年商業者研究グループの指定を受け、商店街の活性化、将来の街づくりを目指し、宮側町青年部近代化研究会を結成。当時会員24名、平均年齢33歳でスタート。毎月1回の勉強会と3つの部会活動が主なものでした。	
活動の内容	設立して1年後、「ハード面の事業」として、立体模型による30年後を想定した将来構想図の作成、「ソフト面の事業」として、毎月第3土曜日、夜7時から11時まで『みやのかわナイトバザール』を昭和62年10月17日（土曜日）よりスタートしました。現在まで130回を越え、12年目を数えるまでになりました。このイベントの特色は、雨が降ろうが、台風がこようが、休むことなしに続けることと、お客様に楽しんでもらう前に「子供たちに自分たちの働く姿を見せたい」という商業者の後継者対策があるということです。「街づくりはふるさとづくり」というコンセプトを柱に、イベントの運営は地域の団体、企業、伝統文化の伝承者等、毎回あらゆる地域の人々を巻き込んでいます。また、この「ナイトバザール」には毎回多くの商店街関係者や街づくり団体の人たちが視察にやってきます。そうした方々との交流や情報交換も絶えず行っております。ハード面の活動でも、この10年間に街路灯の設置、通り名看板、電線の地中化、歩道整備、イルミネーションや店の改装、シャッターへの写真（ストリートギャラリー）等を実施しています。	
エピソード	「ナイトバザール」のイベントは、毎回同じイベントはしないルールがあります。例えば、「ミスナイトバザールコンテスト」は、男同士で海外旅行をしてもつまらないから、若い美人と一緒にいく方法として実施。苦情が多かったイベントは真冬の「氷上ガマン大会」。実施したら参加者全員が凍傷になり、役員全員でお詫びに行きました。	
今後の計画目標	街づくりには終わりがありません。いつまで続けるかわかりませんが、早く後継者が育ちバトンタッチしたいものです。今後の計画は、「ははそ通り美術館」、「ストリートファニチャーの設置」、「街角ギャラリー彫刻の設置」等、文化芸術面での充実を図ることで。	
年間行事	毎月	☆ 毎月ミニイベントを10ヶ所位で行っている。
これまでの歴史	昭和61年5月	県商工部より「青年商業者共同研究グループ」指定
	昭和62年10月	「第1回ナイトバザール」開催 会発足
	昭和63年2月	宮側町将来構想「ライブタウンみやのかわ」発表
	平成4年10月	「第60回ナイトバザール」開催 第1期環境整備事業完成
	平成8年2月	「第100回ナイトバザール」開催
	平成10年3月	第2期環境整備事業完成
会員からの一言	「地域づくり」は長期的目標（夢）を設定したら、さしあたりできることから手を着ければよい。夢とロマンを求めていると花火のように消えてしまうし、夢のないものはシャボン玉のように消えてしまう…。私たちは「将来構想」という30年後の目標を設定し、実現に少しでも近づける手段として「ナイトバザール」を毎月継続しているのです。	
代表者からの一言	物を売ることがナイトバザールの目的ではありません。人々の集まりの中から地域の隠れた人材、ネットワークを掘り出すことによって生まれるコミュニケーションの輪を広げることこそ街づくりの基本です。例えば、お年寄りの知恵、郷土料理の発掘、若者のエネルギー、市民一人ひとりが実にいろいろな個性を持っています。その一つひとつを全部結集したパワーある“街”を実現することが私たちの“夢”です。	